

商工会地域の7～9月期の業況感は、小売りで改善するも、製造業、建設業、サービス業で悪化  
来期、製造業、サービス業で改善見通しも、すべての業種でマイナス水準が続く見通し

—2024年7月～9月期 中小企業景況調査報告書概要—

日銀が2024年10月1日に発表した9月の企業短期経済観測調査（短観）によると、企業の景況感を示す業況判断指数（D・I）は、大企業・製造業で6月の調査から変わらずプラス13となった。石油・石炭製品などで悪化したものの、電気機械、造船・重機などで改善。大企業・非製造業は16期（4年）ぶりの悪化となった6月調査から1ポイント改善しプラス34となり、全業種でプラスとなっている。対個人サービスが6月調査比11ポイント悪化したものの小売や建設で改善した。

中小企業の業況判断指数は、製造業では1ポイント改善してプラスマイナス0、非製造業は2ポイント改善してプラス14であった。製造業はゼロ近辺で横ばいの動きが続いている一方、非製造業は比較的高い水準で推移している。

販売価格判断（上昇～下降）を見ると大企業・製造業ではプラス26と3ポイント低下。中小企業・製造業はプラス29で1ポイント低下している。一方、仕入価格判断（上昇～下降）は大企業・製造業でプラス41と6ポイント低下し、中小企業・製造業はプラス57で4ポイント低下している。販売価格、仕入れ価格ともに、上昇基調にやや頭打ちが見られる。

3か月後の先行き見通し（2024年12月予測）は、大企業・製造業は今期より1ポイント改善しプラス14、非製造業では、6ポイント悪化のプラス28と予測。中小企業では、製造業は今期と変わらずプラスマイナス0、非製造業は3ポイント悪化のプラス11と予測されている。

内閣府が2024年9月18日に発表した9月の月例経済報告では、景気全体の基調判断は2月に「このところ一部に足踏みも見られるが、緩やかに回復している」から「このところ足踏みも見られるが、緩やかに回復している」に引き下げた判断を維持。個別項目の「業況判断」は、「改善している」という見方を維持している。8月からの変更項目は、倒産件数につき「増加が見られる」としていたものを「このところ増勢が鈍化している」に、国内企業物価につき「緩やかに上昇している」を「このところ上昇テンポが鈍化している」としている。先行きについては、「雇用・所得環境が改善する下で、緩やかな回復が続くことが期待される。（中略）ただし、欧米における高い金利水準の継続に伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっている」としている。

県内商工会地域の景況調査においては、今期（2024年7月～9月）の業況に関するD・I値は、製造業が前期より14.4ポイント悪化しマイナス23.5、建設業は4.0ポイント悪化しマイナス8.0、小売業は13.8ポイント改善しマイナス27.8、サービス業が7.4ポイント悪化しマイナス14.8となった。小売業を除いてD・I値は悪化し、全業種でマイナス水準となっている。

来期（2024年10月～12月期）の業況予測は、製造業が今期実績より8.8ポイント改善しマイナス14.7、建設業が8.0ポイント悪化しマイナス16.0、小売業は5.5ポイント悪化しマイナス33.3、サービス業は3.7ポイント改善しマイナス11.1と予測されている。

業界天気動向図

項目	売上				採算（経常利益）				資金繰り			
	2023	2024			2023	2024			2023	2024		
年月	10	1	4	7	10	1	4	7	10	1	4	7
業種	12	3	6	10	12	3	6	9	12	3	6	10
	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月	月
製造業												
建設業												
小売業												
サービス業												

各項目については次により表示した。

区分	増加	やや増加	横ばい	やや減少	減少	大幅に減少
	好転	やや好転		やや悪化	悪化	非常に悪化
D・I値（前年同期比）	20.1～	5.1～20.0	5.0～△5.0	△5.1～△20.0	△20.1～△35.0	△35.1～
表示	快晴	晴れ	曇り	小雨	雨	豪雨

今期直面している経営上の問題点

（数値の左は前期構成比、右は当期構成比を記す）

業種	1位		2位		3位		4位	
製造業	原材料価格の上昇		製品（加工）単価の低下、上昇難		需要の停滞		人件費の上昇	
前期	23.5	29.4	8.8	11.8	8.8	11.8	11.8	8.8
今期	23.5	29.4	8.8	11.8	8.8	11.8	11.8	8.8
建設業	材料価格の上昇		従業員の確保難		請負単価の低下・上昇難、下請単価の上昇、下請業者の確保難、官公需用の停滞			
前期	20.8	29.2	20.8	20.8	—			
今期	20.8	29.2	20.8	20.8	—			
小売業	仕入単価の上昇		購買力の他地域への流出		需要の停滞		大型店・中型店の進出による競争の激化	
前期	34.3	20.0	11.4	17.1	2.9	14.3	0.0	11.4
今期	34.3	20.0	11.4	17.1	2.9	14.3	0.0	11.4
サービス業	材料等仕入単価の上昇		利用者ニーズの変化		需要の停滞		店舗施設の狭隘・老朽化	
前期	49.0	45.8	8.2	10.4	8.2	10.4	8.2	8.3
今期	49.0	45.8	8.2	10.4	8.2	10.4	8.2	8.3